

片瀬だより

令和3年3月25日発行
 編集・発行 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 片瀬公民館
 電話 29-7171
 FAX 25-8907

公民館事業のお知らせ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります。

◎申し込みは、すべて本館へ電話または来館で（平日のみ午前8時30分～午後5時）

片瀬公民館(本館)

片瀬福寿学校(高齢者学級)

片瀬地区在住・初めての方優先
 65歳以上 定員 60人

申込期間

4月5日(月)から9日(金)

※電話、FAX、来館で受付
 申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。抽選結果は、ハガキにてお知らせいたします。
 詳細は、地域回覧をご覧ください。

おひざの上のおはなし会

乳幼児と保護者 各回5組

◎4月20日(火) 午前11時から
 申込:4月12日(月)から

◎5月18日(火) 午前11時から
 申込:4月21日(水)から

◎6月15日(火) 午前11時から
 申込:5月19日(水)から

※電話での受付のみ。先着順。詳細は、地域回覧をご覧ください。

知笑の輪倶楽部(ちえのわくらぶ)

地域にまつわる忘れかけていた思い出、映画、ハンドメイドなど毎回テーマが変わります。気軽にお立ち寄りください。

◎5月24日(月)午後1時30分から
 『ふるさと片瀬～今昔あれこれ～こぼれ話』
 申込み:4月23日(金)から

◎7月12日(月)午後1時30分から
 『ふるしき 結び ひらく』
 ～かんたん・便利・エコなふるしき活用術
 お伝えします～
 ※詳細は、地域回覧をご覧ください。

おもちゃの病院

壊れたおもちゃを可能な限り修理します。

◎4月17日(土)
 ◎5月15日(土)
 ◎6月19日(土)
 各回
 午後1時30分から
 3時30分

※修理部品代が、かかることもあります。

楽しく子育て 乳幼児と保護者

◎4月15日(木)絵本(第1談話室)
 申込:4月8日(木)から 8組

◎5月20日(木)親子リトミック(しおさいトレーニング室)
 申込:5月13日(木)から 10組

◎6月17日(木)栄養相談(第1談話室)
 申込:6月10日(木)から 8組

各回 午前10時から正午

※詳細は、地域回覧・広報をご覧ください。

子ども事業

◎5月15日(土)
 『川名清水谷戸の畑で遊ぼう』

◎6月19日(土)
 『初心者親子釣り講座』

※詳細は、学校配布のチラシをご覧ください。

片瀬しおさいセンター(分館)

3月6日(土)に予定されておりました『Let's Try 片瀬! みんなにエールを!』は緊急事態宣言が延長されたため、中止とさせていただきます。

フレイル予防講座

60歳以上の方 全5回出席できる方優先

◎5月19日(水) ◎6月2日(水)
 ◎6月16日(水) ◎6月30日(水)
 ◎7月14日(水)

各回 午前10時～正午
 しおさいセンター体育室
 申込:5月6日(木)から電話または来館で。
 先着20人。

※詳細は、地域回覧・広報をご覧ください。

講師付き公開講座

◎4月22日(木)
 『体幹エクササイズ』

◎5月11日(火)
 『自然の香りの中でストレッチ』

◎6月10日(木)
 『のびのびらくらくストレッチ』

各回 午前9時30分から10時30分
 しおさいセンター体育室
 定員:各回20人
 ※詳細は、地域回覧をご覧ください。

手芸のじかん

◎4月26日(月)
 ◎5月24日(月)
 ◎6月28日(月)

各回 午前10時から
 正午
 しおさいセンター工芸室

※事前申込は、必要ありません。材料や道具をお持ちください。

卓球・バドミントン開放

◎4月10日(土)卓球開放 ◎4月18日(日)バドミントン・卓球開放
 ◎5月15日(土)バドミントン開放 ◎5月23日(日)バドミントン・卓球開放
 ◎6月5日(土)卓球開放 ◎6月27日(日)バドミントン・卓球開放
 ※詳細は、地域回覧をご覧ください。

ご自宅で検温してから、来館してください(37.5度以上ある場合、または平熱比1度以上超過の場合はお休みください)
 ※マスクの着用にご協力ください。

「1年間を振り返って」

「いつも以上のえがおを求めて」
藤沢市立片瀬小学校
校長 村上 孝行

4月6日の始業式、入学式の後、約2ヶ月に渡って臨時休校になるなんて思いもせませんでした。八ヶ岳や日光といった宿泊行事は中止。水泳の授業や運動会も中止。毎日の検温やエックに下校後の消毒。いつもと違う日々の過「し方にとまどいながらもその中でいつもと同じ、いやそれ以上の「えがお」をさがしてきました。日帰りの八ヶ岳、観客なしの全校表現発表会(様子をDVDに納めて全世界に配布)、各学年ごとに保護者を迎える学年表現発表会(いつもの運動会より我が子が間近でゆっくり見られたと意外に好評。)修学旅行代替としてのよみうりランド遠足等々。学校再開後たくさんの「えがお」が戻ってきました。子どもたちの「えがお」が地域に広まり、「えがおあふれる片瀬地区」となるよう、今後も「えがおあふれる片瀬小学校」を目指し取り組んで参ります。今後も皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



龍口園(片瀬山公園)散策



「展望台があったのかな?」「馬が歩いたのはどこだろう?」幻の遊園地を想像して歩きました。

昨年9月から3回の連載でお読み頂いた「龍口園ものがたり」の舞台である、片瀬山公園(元龍口園)に編集委員5人で行って見ました。以前から変わった土地の形だと感じてはいましたが、喜清みずほさんの連載を読み、かつて、ここに六階建ての展望台や大きな鳥小屋、演芸場、馬が居たと知り、今ではその面影はすっかり消えてはいるものの、どこかにその痕跡がないかと探しながら歩きました。



公園入口は湘南モノレール目白山下駅よこ

坂道を登ったところにこの公園の由来を書いた看板が立っています。もともとは竜口山といい、そのいわれは「天女と五頭竜」という伝説にでてくるそうです。昭和初期に「龍口園」という遊園地があったことも書かれています。

その後、昭和48年に風致公園として整備され、現在に至っています。市内では残り少ないまとまった面積の樹林地として貴重な存在となっているそうです。



海と片瀬のまちが一望に!

園内は鳥の声とリスの鳴き声が聞こえてくるばかり。コロナ禍で外出もままならないこの頃です。3月下旬からは公園の桜も見ごろを迎えます。90年以上も前にあつた遊園地を想像しながら、みなさんも歩いてみませんか。

片瀬山公園の由来

片瀬丘陵の南麓にあるこの山は、もともと竜口山とい、そのいわれは「天女と五頭竜」という伝説の中に出てきます。千四百年もの昔に、このあたりを荒らしていた五つの頭をもった竜がいましたが、江ノ島の弁天様のおかかげで改心し、村を守るために山となったのがこの竜口山だと書かれています。また、ここは昭和初期に「龍口園」という遊園地があり、六階建ての展望台や、動物園などがありました。その後、遊園地はなくなり、昭和四十八年に風致公園として開設され、片瀬山公園として現在に至っています。緑豊かなこの公園は自然を生かしながら整備され、市内では残り少ない、まとまった面積の樹林地として貴重な存在となっており、園内には、海岸丘陵地帯独自の植物を主体として、斜面地にイノチやタブノキ、尾根部にはヤブコウジやスタジイの群集を見ることができ、春にはサクラの名所としても親しまれています。また、展望台からは美しい片瀬の街並みや、西浜の砂浜、そして晴れた日には遠くに富士山を望むことができます。

藤沢市役所 公園課

坂道を登ったところに公園の由来が書かれた看板があります

「戦没者顕彰会」について

戦後75年、戦争体験者やその遺族が高齢化し、解散する遺族会も各地で出てきています。戦争の記憶をどう継承していくか、官民で模索が続いています。このような問題に対して、片瀬・江ノ島地区では、追悼式等の顕彰事業の伝承を、地域主体の組織(戦没者顕彰会)により継承していくこととなりました。今年には新たな組織の主催による開催となりますことから、広く地域の方に知っていただきたく、以下顕彰会会長のあいさつにより概略をお知らせするものです。

片瀬市民センター長 横田淳一

地域の団体としてこの1月から「戦没者顕彰会」が新たに加わりました。

この会は片瀬・江ノ島地区の戦没者(177柱)の追悼行事を継承し、国に殉じた英霊の功績を後世に伝えることを目的とする会です。従来、この戦没者の追悼行事は諏訪神社と遺族会とで担ってきましたが、戦後75年余り経過し遺族会の高齢化が著しく進み遺族会分担が難しくなってきました。

そこで、行政を含めて関係者が善後策を協議した結果、地域から出征し不幸にして戦没された方々の追悼行事については「地域の行事」として継承することとなり、この組織が新設されたものであります。

「戦没者追悼式」は2年毎の5月に諏訪神社で斎行されますので、地域の皆様も主旨ご理解いただき参加いただければ幸いです。

今年(5月22日(土))10時30分〜予定

片瀬・江ノ島地区

「戦没者顕彰会」会長 山口幸雄

連載 第3回(最終回)
 幻の遊園地
 「江の島龍口園」ものがたり
 喜清 みずほ

「楽園の別天地」をうたい、片瀬の子どもたちのあこがれの場所となつた「龍口園」。

しかし、その営業はわずか数年と伝えられている。



開業時に配布されたと思われるチラシ
 (藤沢市文書館所蔵)

龍口園が開業した昭和初期、前時代からの交通網の整備が更に進み、「観光」「行楽」を日常生活に取り込んだ庶民が各地へと繰り出していった。片瀬には、絶大な人気を誇った江の島への参拝客に加え、都会から海水浴目当ての客が押し寄せた。しかしそれらを目的に來訪したからこそ、彼らの足を山上の遊園地に向けさせるのは難しかっただろう。すでに東洋一の遊園地と呼ばれ、規模・遊戯施設ともに充実した「鶴見花月園」が人気を博し、その他の遊園地も龍口園を上回る施設で営業していた。川端康成、高浜虚子らが残す龍口

園を評した言葉は、「俗」殺風景であり、かれらの目にも「不満足な施設」と映っていたようだ。「当て込んだ都会からの観光客は来なかった(『湘南雑記』)」という話どおり、経営状況は厳しかったと思われる。



展望台から見下ろした園内(横浜開港資料館所蔵)

龍口園を運営した会社は開園の4年後(昭和6年)に突如解散し、代表の森辨次郎は別会社の社長として朝鮮半島に渡った。その後も龍口園は絵図に描かれ、また園内で発生した心中事件の記事もあり営業が続いていたことがわかる。しかし事業を引き継いだ会社は不明である。実業家の菅原通済(大船)片瀬を結ぶ有料道路敷設を進めていた)が道路完成直前に龍口園の役員に加わり、園と龍口山地権者との契約を利用して道路を完成させるのだが、道路会社の当時の資料に龍口園経営に関わる事項は見い出せない。(通済は道路完成後に園の役員を辞している)近隣の寺院にも龍口園の記録はないという。片瀬での伝聞、

また昭和11年の新聞記事上にある「展望台の復活をのぞむ」という文言から、その頃にはすでに閉園していたと思われる。

いま、当時の絵葉書や新聞記事以外に、龍口園の存在を感じ取れるものはあるだろうか。

常立寺背後の山肌にみられる大きなくぼみは、エレベーターの設置されていた跡である。

また、展望台や遊具があつた段差のある地形が、現在片瀬山公園となつた山上に形を崩しながらも残っている。



終戦直後に写された航空写真。扇形を重ねたような地形が展望台のあつた場所(昭和21年 国土地理院)

龍口寺境内の仏舎利塔のある高台は、エレベーターと山の間には架けられた橋の着地点である。

ここには、その橋げたを乗せた「橋台」が残っている。



当時のまま残るコンクリートの橋台
 (フェンス内から撮影)

そして、形あるものが朽ち消えても残るもの。それは人の記憶である。昨年秋元さんからお話を伺った後、さらに片瀬在住の齋藤さんから、鉄工所を営まれていたご尊父が、龍口園エレベーターの建設工事を請け負っていたという情報をお寄せいただいた。ご尊父は、当時エレベーターの電気工事をされた方と親しくなり、共に酌み交わす仕事終わりのお酒を楽しみにされていたそう。今も齋藤さんご自身が、そのご家族とお付き合いがあるという。

今から百年近く前、聖なる山に現れた遊園地「江の島龍口園」。

わずか数年ながら、園は片瀬の町と共にあり、日々を営む人々の目には自然とその姿が映っていただろう。消えかけた町の記憶を次代に伝えてほしい。それは家族や友人、大切な人たちを過去から未来へとつないでくれる。

この連載が一助となることを願っている。

ふるさと片瀬く今昔あれこれ③

中村 喬

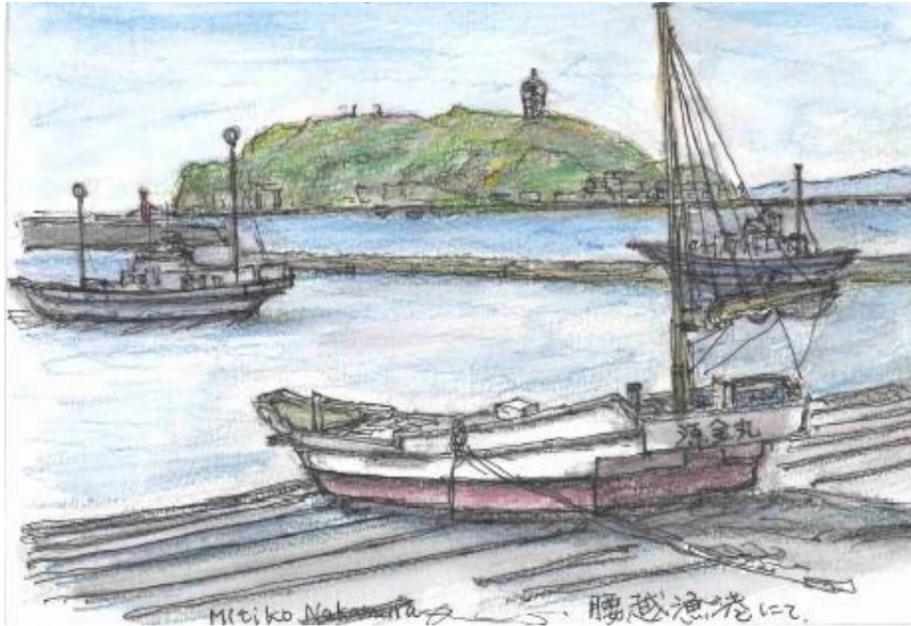
懐かしい「ことば」

早朝、網をあげて漁船が片瀬川に戻ってくる。「今朝のかますはソリヤー脂がのついでウンメーヨ」船長の「ことば」が楽しい。命の海とつながりながら生業としての漁を続ける人の「ことば」はアツタカイ。そして懐かしい。

「ウンメー」は長い間に地域が育ててきた「ことば」なのだ。私の中でも生きていく。「デケー」のを一匹分けてクンナ」と返したくなる。江の島・片瀬・腰越の地域にはまだ懐かしい「ことば」が残っている。材木屋は「ゼーモク屋」、鮭を「シヤケ」、風呂敷を「フルシキ」と言ったりする。物の名前だけでなく、曲がるを「ヒンマガル」、座るを「ブツワル」などとも表現する。

戦後の一時期、腰越の小学校を発信元として「ネサヨ運動」という動きがあった。「そんでネ」「おれサ」「おめえヨ」などの言葉づかいの「ネサヨ」をなくそうとする活動だった。暮らしたに根づいた言葉を矯正しようとする提案には賛否があつて、長くは続かなかつたようだ。

「片瀬にはヨー、ゼーモク屋があつたべー」そう言われてみるといつの間にか材木屋さんは姿を消した。江ノ電の江ノ島駅近辺には、菓子屋があつた。薬局も豆腐屋もあつた。本屋も氷屋も洋品店も製麺所もあつた。町そのものが百貨店だったのだ。今はもう無い。下駄屋も時計屋もだ。



暮らしが変われば町も姿を変える。「ことば」も変化していく。が、地域の人たちが大事に育ててきた「ことば」が消えていくのは寂しい。

【若布干す漁師言葉の懐かしき】

片瀬公民館より

公民館の貸室予約が電子申請に変更になります

変更日 2021年(令和3年)3月20日(祝)から

- 1 使用申請書での申請を廃止しパソコン・スマートフォン・街頭端末などを使用してのインターネットでの電子申請になります。
- 2 団体登録が必須となります(申請から登録まで1週間ほどかかります)
- 3 公民館施設予約システムの申請は午前8時30分から午前0時まで(閲覧は24時間可能)
- 4 申し込みできる期間 使用日の属する月の3月前の20日から同月月末まで(例6月使用分↓3月20日から3月31日まで)
- 5 抽選申し込みが出来るのは、登録公民館の部屋のみです。ご希望の部屋・日にち・時間を指定してお申し込みください。複数の抽選申し込みをする場合は、使用希望の優先順位を指定していただきます。
- 6 抽選申し込みは、連続2区分、最大12区分までできますが当選区分数は最大8区分までになります
- 7 公民館施設予約システムで自動抽選しますの、使用日の属する月の2月前の1日(抽選日)の午前8時30分から同月14日までに、ご確認ください。
- 8 空き部屋の先着申請は、使用日の属する月の2月前の2日午前8時30分から前日午後5時まで(土日祝日使用分の申請は、直前の平日午後5時まで)
- 9 使用のキャンセルは、公民館施設予約システムで、前日の午後5時までに行ってください。前日午後5時までにキャンセルがない場合は、使用料をお支払いいただきますのでご了承ください

※3月20日(祝)から3月31日までは、片瀬公民館・おさいセンター共に公民館職員が、ご質問などお受けします。ご来館ください。電話でのご質問は対応中などのため、お受けできない場合もございますので、ご了承ください。

図書館だより

市内に在住・在勤、在学の方ならどなたでも、一人6冊まで2週間借りられます。

〈開室時間〉

火曜日 午前10時～午後5時

〈新刊案内〉令和3年1月現在

幼なじみ

佐伯 泰英

男の業の物語

石原 慎太郎

コロナと潜水服

奥田 英朗

本当は危ない国産食品

奥野 修司

がんが消えていく生き方

船戸 崇史

いとまの雪(上)(下)

伊集院 静

絵本 ピーターラビットの

ふるさとをまもりたい

絵本 ネコとなかよくなろうよ

編集後記

このコロナ禍の生活から、脆弱な社会基盤を感じた。医療、就労、政治、貧困、化学、IT等々不満と不安が募った。

病の治療や入院も容易に、外出も会食も気儘だったと昔を懐かしむ。マスク着用はいつまでかため息をつく。

しかし、人類は多くの試練を乗り越えて、今を迎えた。哀れな結末を迎えないように、私達も日々を省みたい。

私達の未来ではなく、次代を担う子ども達の未来を考えたい。

(落)

申込み・お問い合わせは
片瀬公民館(本館) ☎0466-29-7171
平日 午前8時30分～午後5時

令和3年度 片瀬公民館事業年間予定

- ◇ 詳細は「広報ふじさわ」「片瀬だより」「地域回覧」等でご確認ください
- ◇ 内容は変更することがあります
- ◇ 講座により申込み方法が異なりますので、ご注意ください

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
〈片瀬福寿学校〉											
〈講師付き公開講座〉											
〈手芸のじかん〉											
〈卓球・バドミントン開放〉											
〈おひざの上のおはなし会〉											
〈楽しく子育て〉											
〈おもちゃの病院〉											
<p>〈龍とドラゴンの旅する～癒しの芸術を求めて片瀬を歩く～〉 4/9(金)座学 4/16(金)散策 全2回</p> <p>〈サークル共催①「バリ島文化の会」〉 詳細未定</p>	<p>〈フレイル予防講座〉 5/19(水)～ 全5回</p> <p>〈片瀬山移動公民館①〉</p> <p>〈片瀬地区子ども事業〉</p> <p>〈知笑の輪倶楽部〉</p>	<p>〈わくわく教室〉※</p> <p>〈片瀬地区子ども事業〉</p>	<p>〈赤ちゃん和妈妈のオイルトリートメント〉※</p> <p>〈夏休み子ども事業〉 ①文化講座 ②スポーツ講座</p> <p>〈海洋科学教室〉 夏休み期間中実施 小4～6対象 初めての方優先</p> <p>〈片瀬江の島浮世絵展 広重と絵師たちの名所(仮)〉</p> <p>〈知笑の輪倶楽部〉</p>	<p>〈赤ちゃんとママのオイルトリートメント〉※</p> <p>〈教育文化講演会〉※ 共催: 片小・中PTA</p> <p>〈片瀬地区ふれあいまつり〉</p> <p>〈イルカ学級(乳幼児家庭教育学級)～はじめの一步～ 全11回</p> <p>〈片瀬地区子ども事業〉</p> <p>〈知笑の輪倶楽部〉</p>	<p>〈赤ちゃんとママのオイルトリートメント〉※</p> <p>〈教育文化講演会〉※ 共催: 片小・中PTA</p> <p>〈冬の子ども工作教室〉※ 共催: 青少年指導員</p> <p>〈もっと知りたい! ステップアップSNS) 全2回～3回</p> <p>〈片瀬山移動公民館②〉※</p> <p>〈片瀬地区子ども事業〉</p> <p>〈知笑の輪倶楽部〉</p>	<p>〈男性学級〉※</p> <p>〈片瀬映画館〉※</p>	<p>〈子育て講演会〉 共催: 片瀬学園 片小・片中PTA</p> <p>〈和菓子を学ぶ〉※</p> <p>〈ハケ岳自然体験教室(冬)〉※</p> <p>〈江の島移動公民館〉</p> <p>〈青少年支援フォーラム「ふれあい学習会」〉</p>	<p>〈赤ちゃん和妈妈のオイルトリートメント〉※</p> <p>〈春うららコンサート〉※ サークル連絡会 音楽芸能部会</p> <p>〈片瀬地区子ども事業〉</p> <p>〈知笑の輪倶楽部〉</p>			

※ 詳細は、広報・地域回覧をご覧ください(内容が変更されることもございます)

◎ 新年度予算の執行を伴う事業などについては、市会議における予算の議決を前提としています。



乳幼児親子

事業名	対象	人数	内容
★赤ちゃんとお母さんのオイルトリートメント	3～7か月の赤ちゃんとお保護者	8組	オイルトリートメントを通して親子のスキンシップと参加者同士の交流を深めます
★楽しく子育て	未就学児とお保護者	※	親子リミックや栄養相談など、親子で楽しく過ごせる時間をご提案します
★イルカ学級(乳幼児家庭教育学級)	1歳半～未就園児とお保護者	12組	お保護者同士の仲間づくりをしながら乳幼児期の子育てについて学びましょう
★おひざの上のおはなし会	未就学児とお保護者	各回5組	絵本の読み聞かせ、わらべ歌、手遊びを身近に感じ、心豊かに育つようお手伝いします

小中学生

★わくわく教室	小学生	※	公民館にいろいろな教室がやってくる！小学生の企画した教室もあるよ！みんなで教室をもらおう！
★片瀬地区子ども事業	小学生	※	片瀬こまや魚釣りなど、文化や自然を感じて楽しく遊ぼう！
★夏休み子ども事業①②	小学生	※	夏休みに楽しい体験をしようよ！くわしくは学校配布のチラシを見てね
★海洋科学教室	小学4年生～6年生	20人	新江の島水族館で海を学ぼう
★冬の子ども工作教室	小学生	※	片瀬地区青少年指導員と一緒に冬休みに工作教室をするよ！
青少年支援フォーラム「ふれあい学習会」	中学生	※	公民館から中学校への出張講座！何の授業をするかは楽しみに！

市民一般

★講師付き公開講座	市民一般	20人	年14回予定。月に1回、ストレッチやヨガなどで身体を動かしましょう。7月8月は夜間も開催します
手芸のじかん	市民一般	※	材料や道具をそれぞれ持ち寄って、手芸をしながら楽しい時間を過ごしませんか？
★和菓子を学ぶ	市民一般	20人	藤沢マイスターの技を間近で見られます
★片瀬映画館	市民一般	60人	「99歳母と暮らせば」を上映します。終了後は監督のお話を予定しています
★片瀬山移動公民館①②	片瀬山在住の方	※	片瀬山在住の方に、健康づくり講座や文学講座を開催します
卓球・バドミントン開放	市民一般	※	卓球32回、バドミントン16回。しおさいセンターにて、スポーツを楽しむ機会と交流の場として体育室を開放しています
片瀬だより	市民一般	※	6月、9月、12月、3月に地域広報誌として片瀬公民館の紹介や片瀬の歴史・話題を掲載します
おもちゃの病院	市民一般	※	壊れたおもちゃを可能な限り、修理します。部品代がかかる場合があります
片瀬江の島浮世絵展(仮)	市民一般	※	藤澤浮世絵館との連携により、江の島が描かれた浮世絵及び資料を片瀬公民館に展示します
★男性学級(仮)	市民一般	10人	片瀬地区在住の男性向けに、ライフスタイルを充実させる講座を開催します
★龍とドラゴンの旅する ～癒しの芸術を求めて片瀬を歩く～	市民一般	※	龍口寺の彫刻やカトリック片瀬教会の絵画や宗教音楽について散策しながら学びます(片瀬地区人材・情報バンクセンターとの共催事業です)
★発酵調味料を知る	市民一般	※	免疫を高めるといわれている発酵食品について学び、実生活に利用できる発酵調味料の作り方・使い方を学びます
★教育文化講演会	市民一般	※	子どもを取り巻く教育、社会環境、親のあり方等、目的課題について考える講演会です
★江の島移動公民館	江の島在住の方	※	江の島在住の方に向けた講座を開催します
★子育て講演会	市民一般	※	子育てに関する問題解決をテーマにした講演会です
サークル共催事業	市民一般	※	片瀬公民館でサークル活動を行っているサークルが講師となって、講座を開催します
春うららコンサート	市民一般	※	音楽サークル主催のコンサート。きれいな歌や演奏、ダンスで春の訪れを楽しみましょう

60歳以上の方

★片瀬福寿学校(高齢者学級)	65歳以上 片瀬地区在住、初めての方優先。	60人	公民館に足を運んでみませんか？片瀬の高齢者が孤立することなく、生活に潤いを持ち、仲間づくりを目指します
★知笑の輪倶楽部	60歳以上	※	地域の歴史・映画・美術・スマホなど毎回テーマが変わります。気軽に参加してください。
★もっと知りたい！ステップアップSNS	60歳以上	※	SNSってLINEだけじゃない。SNSの不安や疑問を解決してもっと楽しく使ってみよう
★フレイル予防講座	全5回予定	20人	「フレイル」とは心身の活力が低下した状態をいいます。栄養・口腔・運動などを通して予防しましょう

※地域回覧・広報等ご覧ください。